

# 6/19 これからのマンションを考える第6回住民交流会



## 講師 木村長敏さんのプロフィール&メッセージ

- ◆昭和24年広島県生まれ、関西大学法学部法律学科卒業、マンション管理士
- ◆NPO法人集合住宅改善センター 正会員、セミナー事業部 副部長
- ◆一般社団法人日本マンション管理士会連合会 ADR委員会 委員長
- ◆社)日本マンション学会 関西地域委員会 委員
- ◆マンションADR研究所 主宰者
- ◆新大阪マンション管理研究所 代表(法務担当)
- ◆NPO法人シヴィル・プロネット関西会員
- ◆なにわマンション管理士会 副会長
- ◆社)民間調停機関 市民調停援助室 理事

最近、(財)マンション管理センターの標準管理規約を中心として各種細則が次々に公表されていますが、それに伴って各管理組合でも様々な細則の制定が進み、規約遵守を徹底させるマンションが増えてきました。それでは、規約・細則を充実させれば、トラブルが減って管理組合運営が円滑になっているのでしょうか。

むしろ近年、管理規約や細則の厳密な運用、規約遵守のための措置を巡るトラブルも少なからず見られるようになって来たような気がします。しかも、その内容は居住者間の人間関係に傷を残す根深いものも少なくありません。

管理組合運営の現場を見ると、規約遵守を前面に出し、ルール化が徹底し相互監視が厳しいマンションと、実質的な利益を重視し規約等を柔軟に運用し、人間関係の調整でバランスを取っているマンションを比較すると、後者の方が、コミュニ

ティの形成、管理組合運営ともうまくいっていると感じることも多い。同時に、コミュニティが形成され、管理組合運営がしっかりしているマンションであるから、柔軟な運用でも秩序が保たれていると言えるのかもしれない。

マンションは1つのコミュニティであり、マンションが安心して気持ち良く暮らせる場であってほしいと住民が望むことは間違いありません。

他者を排除せず、お互いがより良い関係をもてるコミュニティ形成が最も重要であると言えます。その意味で、① 理性的な対話、② 情報の共有、③ 議論の参加者が合意を目指している、この三つを大切にする方法としてのADR(裁判によらない紛争解決のための話し合いの調整・調停制度)の理念・スキルを皆さんと一緒に勉強し、管理組合運営のみならず、あらゆる人間関係をスムーズにさせ、より良い関係を作ることを一緒に勉強してみませんか。

\* \* \* \* \*



## 講師 横山由紀子さんのプロフィール&メッセージ

- 1959年 兵庫県生まれ。
- 子育てを通じてコミュニケーションの重要性を再確認し、学びが始まる。「コミュニケーションによる幸せの連鎖」を広げるべく、オフィスSRCを主宰。シニアから子どもまで幅広いコミュニケーション講座や研修を行っている。また、専門学校、府立高校にて、コミュニケーションや就職支援の授業を担当中。

私たちは、意見の対立を避けようと考えがちですが、それでは納得できず、モヤモヤした気持ちが残りますね。心にわだかまりを残したまま、生活を続けると、どこかで歪みが生じてくるものです。お互いが、しこりを残さず、話し合いでもめ事

を解決できたなら、もっと深い人間関係が築けますね。

「自分の気持ちや意見を大切にし、相手の考えも受け入れる」そんな考え方を学び、本音で話し合えるよう、今回は「話の伝え方」をご一緒に考えましょう。毎日の生活で、きっとお役に立ちますよ！